

2024 年度 事業報告

一般社団法人 さんらいず

2024 年度 事業報告(2024 年 4 月 1 日~2025 年 3 月 31 日)

1. 事業活動方針

児童発達支援・放課後等デイサービスの提供にあたり、利用者等の意思及び人格を尊重し、利用者や利用者の家族の立場に立った適切な支援を行い、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、児童福祉法に基づき、利用者一人一人の発達を促すよう援助していく。

2. 事業活動、行事等

月	日	行事内容	月	日	行事内容
4	利用者初日	入学進級を祝う会	10	15	スポーツ大会
	30	第1回合同避難訓練(地震・津波)		16	第3回合同避難訓練(火災想定)
5	20	第2回避難訓練(地震・津波)		21	ハロウィンパーティー
6	3	名取エアリ(放デイ)	11	15	ミニ運動会(児発)
	6, 7, 10 11	いちご狩り週間		21	いも掘り
7	4	七夕会	12	随時	クリスマスを楽しもう(児発)
	上旬より	プール活動		23	クリスマス会準備
8	随時	買い物学習(ジュース購入) プールで遊ぼう 公園で遊ぼう 亘理公園、釣師浜公園、尾浜こども 公園、わくわくランド、角田宇宙セン ター、ひまわり畑		25	クリスマス会
				27	大掃除
			1	6	竹駒神社初詣
		7	中村神社初詣		
			2	3	豆まき会
	22	すいか割り	3	4	ひなまつり会(武道館) 仙台青葉学院大学ボランティア8名
9	上旬	お月見制作			
	18	お月見会		11	休日お出掛け
				24	卒業お出掛け
			31	第4回避難訓練(地震・津波)	

3. 利用実績

(1) 利用者定員 児童発達支援・放課後等デイサービス合わせて10名(以下 放デイとする)

(2) 施設の利用状況

①月別利用状況(人)

年月	児発	放デイ (授業終了後)	放デイ (休業日)	実績合計	児発登録者	放デイ 登録者
2023 年 4 月	27	97	41	165	3	16
2023 年 5 月	29	142	2	173	3	16
2023 年 6 月	25	143	2	170	3	16
2023 年 7 月	26	112	58	196	4	16
2023 年 8 月	10	47	85	142	4	17
2023 年 9 月	20	127	4	151	4	17
2023 年 10 月	28	147	14	189	4	18
2023 年 11 月	32	157	1	190	4	17
2023 年 12 月	25	120	34	179	5	17
2024 年 1 月	35	119	17	171	5	17
2024 年 2 月	31	134	1	166	5	17
2024 年 3 月	31	102	40	173	5	17
合計	319	1447	299	2065	5	17

②市町村別登録者数

山元町(児発 3名)(放デイ 9名) 亘理町(児発 1名)(放デイ 7名)

新地町(児発 1名)(放デイ 4名)

③利用者の年齢(人)

3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	15 歳	16 歳	17 歳	18 歳	合計
	1	2	2	3	4	4	6		2			1				25

(2025 年 3 月 31 日現在)

4. 相談支援事業所との連携

相談支援事業所と連携しながらサービス担当者会議、支援会議、モニタリング、さんらいずの見学等の対応に当たっています。

相談連携内容	件数	事業所・市町村	対応件数
サービス担当者会議	26	やすらぎ作業所	33
モニタリング	35	ともケア	8
さんらいず見学	3	ありのまま舎	2
山元町障害者地域協議会	3	ひなた	5
山元町民生委員施設見学	1	ウィル	11
		リーヴ	3
総件数	68	総件数	62

(2025 年 3 月 31 日現在)

5. 職員数

職種	施設長兼児童発達支援 管理責任者	児童指導員	保育士	看護師	事務職	合計
職員数(人)	1	2(2)	1	1	1	8

※児童指導員 1 名、看護師、事務職は、非常勤(4名)

2025 年 3 月 31 日現在職員数 8 名

6.避難訓練

2024 年 4 月30 日	児童発達支援・放課後等デイサービス利用者対象 (地震・津波)
2024 年 5 月20 日	児童発達支援利用者対象 (地震・津波)
2024 年 10 月16 日	児童発達支援・放課後等デイサービス利用者対象 (火災想定)
2025 年 3 月31 日	放課後等デイサービス対象(地震・津波)

今後も避難訓練等を実施していく予定。

7. 評価表の公表

事業者自己評価の実施

保護者向け事業所評価の実施 2025 年 4 月実施 (ホームページに掲載)

ホームページ作成「さんらいず通信」毎月発信 URL:<http://www.sanraiz2021.com>

8. 研修

月	研修名	参加者
6	令和6年度障害福祉サービス事業者等集団指導	神藤
8	宮城県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修	保志
9	虐待防止・身体拘束適正化対応セミナー	神藤
10	令和6年度 福祉と教育の連携による発達障害者研修会 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	高橋 高橋
12	令和6年度宮城県サービス管理責任者等基礎研修	阿部
3	令和6年度権利擁護・虐待防止の取組事業の研修会 令和6年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	保志 神藤

9. 塩釜保健所の実地指導(令和6年11月14日)

- ・身体拘束・虐待等の禁止するための委員会が設置されていないことの指摘があった。
(令和6年12月～令和7年2月まで)減算。
- ・自然災害業務継続計画が作成されていないこと。
- ・専門的支援加算が取れる期間と取れない期間があったためにその部分の過誤調整。
- ・欠席支援加算で連続して欠席しているところの過誤調整が必要との指摘があった。

10. 活動拠点の移転

令和6年4月1日より活動拠点を山元町高瀬字合戦原113-37へ移転する。

活動拠点を移転したことにより、放課後等デイサービス(A棟)と児童発達支援(B棟)に配置した。広々として部屋数も多く、実態に応じて活動を分けることができるようになった。また、トイレが各棟に3ヶ所ずつあり、待つことなく利用が可能となった。

学校の長期休業日には、放デイと児発それぞれ活動の場所が提供でき、他の施設を借用したりすることがなくなった。そのため、移動時間も解消され活動する時間が十分に設定できるようになった。

活動拠点を移転して、敷地内の凸凹や銀杏の枝が伸び車の駐車スペースの妨げとなっている。このため、敷地内の凸凹については、横山産業に砂利を敷いていただくために、宮城県NPO班と連絡調整して進めていく必要がある。銀杏の枝に関しては、佐山植物園の方に見積もりを作成して頂いたが、金額的に対応が難しく検討が必要となる。

11. 各種規程の整備

新しく規定、マニュアルを策定したもの

- 自然災害発生時における業務継続計画（BCP） 令和6年11月
- 新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画（BCP） 令和6年11月
- 虐待防止・身体拘束適正化委員会規程 令和6年11月
- 安全計画 令和6年
- 危機管理・防災マニュアル 令和3年より毎年更新している。
- 虐待防止マニュアル 令和6年3月